

月刊 まつなみ

発行2009年4月1日



撮影：岐阜市 岩田 輝雄



交通のご案内

新幹線羽島駅 — 西笠松 — 松波総合病院

各駅約15分 徒歩10分

タクシー20分

名鉄岐阜駅 — 西笠松 — 松波総合病院

各駅約15分 徒歩10分

タクシー20分

名鉄名古屋駅 — 笠松 — 松波総合病院

各駅約15分 徒歩10分



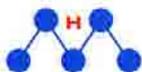
2009

No.114

4

April

●発行●

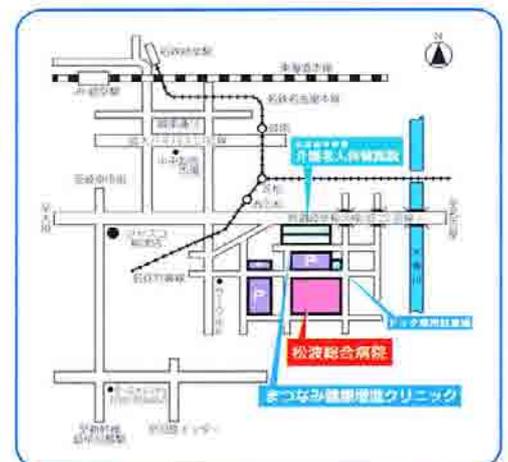


松波総合病院

羽島郡笠松町田代185の1
TEL.058-388-0111(代)

目次

- 特発性間質性肺炎
私の看護が、ここから始まる
- 聞き上手は仕事上手！
モンスターペアレント？
4月のお知らせ
- 外来基本診療体制





特発性間質性肺炎 (特発性肺線維症を中心に)

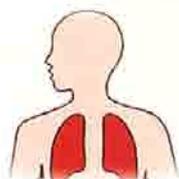
松波総合病院 呼吸器内科部長 小牧 千人

特発性間質性肺炎。この病気はあるいは耳慣れないものかもしれませんが、語尾に肺炎とついているので、何か病原体が肺に進入して炎症を起こすいわゆる（細菌性）肺炎のたぐいを想像されるかもしれませんが、しかし、この病気は何らかの病原体（細菌など）が肺に進入して起こした肺炎とは異なります。原因不明で肺全体に何故か、炎症を起こし硬く（線維化）なっていく病気です。特別めずらしい病気ではありませんが、ややこしい話ですが、この特発性間質性肺炎もいろんな病型があり、単一の病気ではなく似たような病気の総称です。

今回は、ややこしい話をまとめるために特発性間質性肺炎の中の一つで、最も多く、最も難病である特発性肺線維症のみについてお話させていただきます。

特発性肺線維症は、肺全体が徐々に硬くなり（線維化）、数年以上かけて悪化していく病気です。

もちろん原因は不明ですが、タバコが大きく



身体の中の風船・肺

発病、進展に関わっているとされています。

発病当初は自覚症状がほとんど無く、検診のレントゲンで見つかる事もまれではありません。進行も緩徐で数年かかって進行します。そのうちに、息切れが出現、進行し、次第に日常生活をおくれくなります。また、急性増悪といって突然呼吸ができなくなり（がんばって治療しても）命を落とされる場合もあります。また、肺癌の合併も多く、肺全体に線維化があるため、早期発見が難しい上、早期に見つけても、手術、放射線、抗癌剤、いずれも用いても、それがきっかけで前記の急性増悪で命を落としてしまうことがあり、大変難しい病気です。この病気自体の治療法は、この病気が発見されてから何十年もの間、決定的な方法が見つかりませんでした。現在、ある薬が進行を緩め、急性増悪を起こす頻度を減らす事がわかってきました。この大変な難病によりやく光が見え始めた所です。もっとも、新薬であり、副作用の懸念や、他の薬との併用の工夫などまだまだ問題は山積みです。当面は、予防として、喫煙者の方は禁煙が最も重要でしょう。

私の看護が ここから始まる。

松波総合病院 看護本部長 近藤 繁子



看護師は、病院という組織の中で集団規模の大きさと24時間患者様の最も近くで仕事をするという特徴を持っています。この特徴を強みとして質の高い看護を提供し、地域社会に貢献することが私の責務であると考えています。

質の高い看護とは、リスクが予測できること、健康生活の保持増進及び健康への回復を援助するための個別のケアプラン作成、そして家族の支援を行うことと考えております。

看護師は、患者様の疾患だけでなく、生活も含め全体をみて、今この患者様は何が問題になっているのが、うまくいっているかを考え、必要なケアを組み立て、実行する役割を担っています。入院であれ、通院であれ、病を持ちながらも、できる限りその人らしい生活を送られるようケアの提供を行っていきたいと考えております。

—看護部理念—

病院の理念に基づき、あらゆる健康レベルの人を対象とし、常に相手の立場に立ち、かけがえのない生命と人間性を尊重し、皆様が幸福であるよう効率的・継続的な看護を提供します。

—基本方針—

- 1、相手の立場に立ち、公平で思いやりのある態度で接します。
- 2、事故防止に努め、安全、安楽なケアを提供します。
- 3、自ら心身の健康保持増進に努め、品性を高め、責任感を持って行動します。
- 4、常に問題意識を持ち、研修、研究に積極的に参加し、自己啓発に努めます。

聞き上手は 仕事上手！

人の話を聞く。この当たり前のことがきちんとできてない人は意外に多い。
聞きっぱなしだったり返事だけは良かったりする「自称聞き上手」もいるだろう。聞く意味を理解し、姿勢を少し改めるだけで相手に与える印象は変わる。

聞き上手のポイント

1、聞くことのメリットを理解する

- ①相手は何を話そうとしているか
- ②きっちり聞く姿勢で、相手の本音を聞きだし信頼関係を築く

2、相づちを効果的に打つ

- ①1種類の言葉でなく、多くの種類を使う
「はい」に加え、「ええ」「なるほど」「そうですね」
- ②相手の使うキーワードを繰り返し、興味を示す
- ③キーワードに「プラスα」の質問をする

3、視覚にも訴える

- ①話に合わせてうなずく
- ②身ぶり手ぶりを加える

4、気持ちよく話してもらおう

- ①相手の趣味や好みから話題を広げる
- ②相手に合わせはなしやすい環境をつくる



日本経済 2月7日号より引用

モンスターペアレント…？

最近、モンスターペアレントという言葉をよく耳にします。
理不尽な要求を学校に申し入れる親のことといわれています▼しかし、時と場所にかかわらず理不尽な要求をする大人の姿は至る所で見受けられます。理不尽な要求をする親の姿は今に始まったことではないと思います▼ではなぜ今この言葉が使われるようになったのでしょうか。学校・地域・親の教育力の低下が叫ばれるようになってからではないのでしょうか？▼でも考えて下さい。指摘されている親も高等教育を受けてきた元生徒学生であったのを。

学校・地域・親の三者というより、子どもを取り巻く大人社会全体が、バランスを失っているように思えます。「非常識」が常識のように世の中を闊歩(かつぽ)している間は、収まらないように思います▼偽装などの事件の背景にも自分自身の基軸の脆弱(ぜいじゃく)さを他に委ね、自らの反省はせず、他の失態にはことさら厳しく追及する姿に、許すことを忘れた姿に、かつての日本人の誇りをうかがうことができません▼”恥じなくてよいことを恥じ、恥ずべきことを恥じない人々は邪な見解をいだいて、悪いところにおもむく” (ダンマパダ=真実の言葉)



笠松双葉幼稚園園長
志智 慈朗

4月 お知らせ

■糖尿病教室 ※糖尿病が気になる方はどなたでも気軽にご参加ください。

◎毎週水、金曜日、5階病棟ダイールームにて 午後1時～2時

尚、都合により日時等変更する場合がございますのでご了承ください。

社会福祉法人 其西厚生会

理念

私たちは、地域中核の社会福祉法人として地域住民の密着性、安全で質の高い医療・福祉を効率的かつ継続的に提供する。

基本方針

私たちは、医療における安全を重視し、患者様中心の根拠に基づいた医療・福祉サービスを提供します。

私たちは、患者様や利用者様のプライバシーを守り、権利を尊重します。

私たちは、経営の安定と組織の活性化を図り、職員の仕事がいと生活が安定し向上するよう努力します。